

目次

序

第I部 現代物理学の創始者

1	マックス・プランク	9
2	ヴォルフガング・パウリ	57
3	天才ディラックの物理学	99
4	ポール・ディラックを偲ぶ	175
5	ニールス・ボーアの物理と方法	185
6	ルイ・ドブロイを偲ぶ	227
7	ハイゼンベルクと素粒子論	244
付	高林から坂田(昌一)氏への手紙	280

第Ⅱ部 エッセイと書評

8	方法的断片——物理学とは何か——	287
9	詩と物理の交感	304
10	書評二篇	319
	ダイソン『宇宙をかき乱すべきか』(鎮日恭夫訳)	
	パイス『神は老獺にして……』(西島和彦監訳)	
11	パリ日記	331

初出一覧と文献補足